

飯伊 産業経済動向

No.450 2016/9
(28.10.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
経営相談所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,791	枚	△	14.9 %	△	7.4 %
	金額	4,807,264	千円	△	7.1 %		7.6 %
うち不渡発生状況	枚数	2	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 35 枚)	
	金額	1,397	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 23,340 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	6	件	(前月 8 件)		(前年同月 10 件)	
	飯伊	0	件	(前月 1 件)		(前年同月 3 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(8月)		70	戸		20.7 %		4.5 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(8月)		1.41	倍	(前月 1.38 倍)		(前年同月 1.36 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,565	台		51.1 %	△	14.5 %
	中古車	597	台		8.3 %	△	4.3 %
軽自動車新規登録台数 (長野県自動車協会)(8月)	新車	2,920	台	△	17.3 %	△	6.3 %
	中古車	765	台	△	11.6 %		9.8 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	114,067	台	△	12.0 %	△	5.8 %
	出	115,256	台	△	9.9 %	△	5.8 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	80,004	台	△	6.6 %	△	2.8 %
	出	78,194	台	△	5.7 %	△	1.5 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	14,190	台	△	31.1 %	△	36.8 %
	出	14,192	台	△	30.4 %	△	36.7 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	42,226	台	△	22.8 %	△	13.6 %
	出	41,622	台	△	27.4 %	△	15.4 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		176	件		18.1 %	△	17.8 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		2	件	(前月 8 件)		(前年同月 14 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	26,977	人	△	25.4 %	△	4.0 %
	飯田～名古屋	17,418	人	△	21.5 %		0.3 %
	飯田～長野	9,385	人	△	8.6 %	△	3.0 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,318	人	△	6.8 %		4.5 %
	右回り	3,428	人	△	7.0 %		3.2 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当相談所が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに進めています。



100%植物性油(インキ)
[リサイクル紙100%]を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

9月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス9.7で、前月から3.6ポイント上昇。翌月予測も3.0で、前月から3.0ポイント上昇している。

電子部品やモーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。景況感が好転した業者は見受けられないものの、「受注は好調に推移」などの声。半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減分かれる。産業機器、医療機器等部品の受注、販売の前月比は業者により増減分かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。「中国向けが在庫増加で受注減が続いている」などの声の一方、「ロボット向けが好調」などの声も。建築用金属製品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比は減少との声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばい。一部に景況感も悪化したとの声も。FA関連モーターでは、「産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられた。光学機器部品の生産は、前月比、前年比とも減少との声が寄せられ、先行きも弱含んでいるという。電気、電子製品の生産は、前月比増加との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや減少。前年比もやや減少との声が多い。「先行き不透明感と悪天候があってか動きが悪い」など景況感も横ばいないしは悪化との声が多い。水引製品の販売は、前月比減少との声も聞かれたが、やや増加との声が多い。漬物の販売は、前月比やや増加との声が寄せられた。「長雨、日照不足により生鮮品に高値感、品薄感があった」という。

建設業

9月の建設業の景況DIは、マイナス6.7で、前月から24.6ポイント上昇。翌月予測DIは、マイナス7.1で、前月より7.1ポイント下降している。

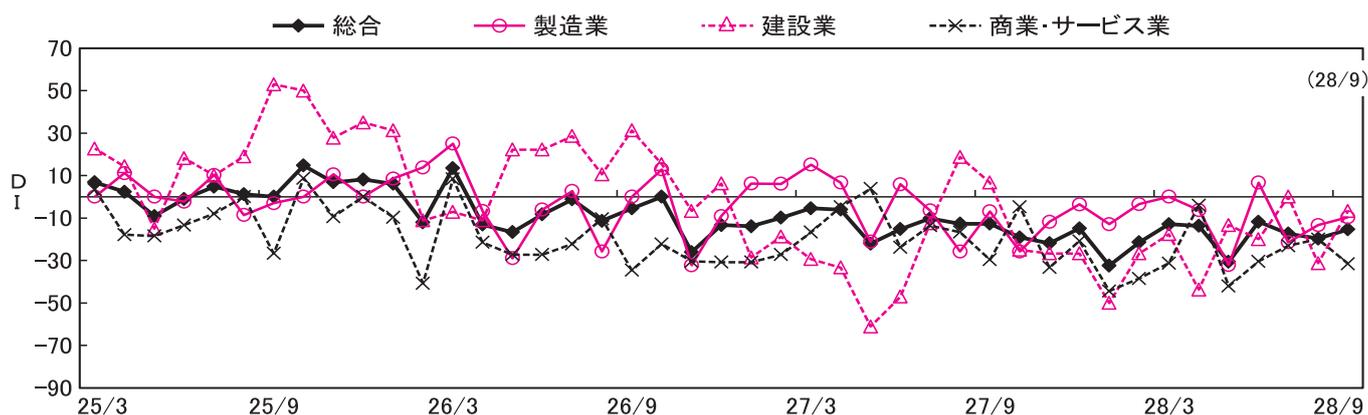
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約20.9億円で、前月比は26%増加、前年比も4%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、増減相半ばする。受注残高が増加した業者も少なからず見受けられたが、こうした業者でも景況感の好転には至っておらず、「9月に入りやっと本格的に発注が始まったが、全体的にはまだまだ少ない感じがする」などの声が寄せられた。

民需の住宅着工戸数(8月)は70戸。前月比21%増加、前年比も5%増加している。当月の調査先業者の受注残高の前月比は、減少～横ばい。「一般工事も仕事は少ない」「仕事量は腹半分といったところ」など多くの業者で景況感の好転には至っていない。

商業・サービス業

9月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス31.6と、前月より11.6ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス25.0で、前月より12.5ポイント下降している。食料品の売上の前月比は、やや減少との声が多い。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、先行きは、景況感の好転には至らないものの、やや増加を見込んでいるという。家事用品卸の売上は、前月比やや減少、前年比はやや増加という。家電の売上は、前月比減少。前年比は業者により増減分かれる。OA機器の売上は、前月比減少、前年比はやや増加との声。衣料品の売上は、「衣替え」などもあって前月比やや増加～増加、前年比は横ばい～やや増加。娯楽用品の売上は、前月比、前年比ともにやや減少との声。土産物関連の売上は、前月比減少～横ばい。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比51%増加も、前年比は15%減少。8月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は前月比17%減少、前年比も6%減少。市内料理店の売上は、一部に前月比増加との声。前年比はやや減少との声が多い。「秋口なので山行き等の需要も増えている」などの声はあるものの、「週末は比較的良いが平日の入込が昨年より悪く一段と冷えこみを感じる」などの声が多い。市内ホテル、旅館の売上は前年比やや減少という。屋外温泉の売上は、前月比減少～やや減少。「台風によるキャンセルが大きかった」などの声が多数寄せられた他、「夏休みも終わり家族連れが減少。2名様の利用がほとんど」などの声。旅行代理店の売上は、「秋の観光シーズンに入り国内・海外ともに前月比増加」という。タクシーの売上は、前月比、前年比ともにやや減少という。

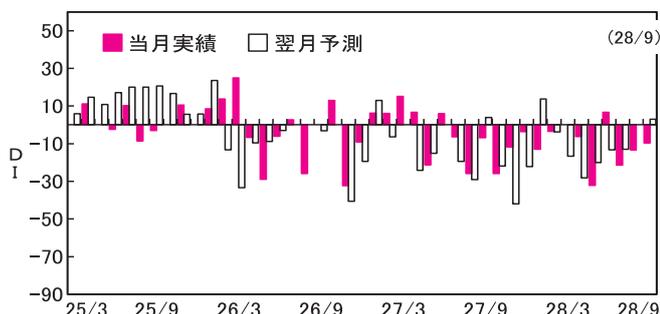
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）

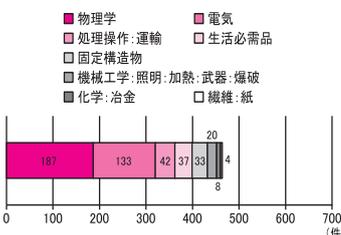


当月実績	-9.7	(前月 -13.3)
翌月予測	3.0	(前月 0.0)

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス9.7で、前月から3.6ポイント上昇。翌月予測も3.0で、前月から3.0ポイント上昇している。

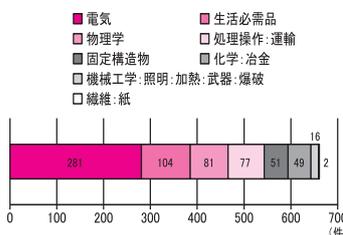
リーサスによって2014年における飯田下伊那地域の特許保有状況を見ると、物理学の分野で187件、電気分野で133件など、合わせて464件の特許が当地域で保有されている。なお、上伊那地域では、電気分野281件、生活必需品分野で104件など合わせて661件の特許が保有されている。

下伊那地区のセクション別特許件数 (2014年現在)



(資料：リーサス)

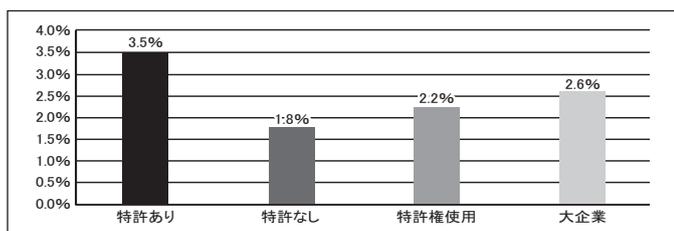
上伊那地区のセクション別特許件数 (2014年現在)



(資料：リーサス)

特許庁「平成25年度中小企業等知財支援施策検討分析事業（中小企業の知財活動に関する基本調査）報告書」によると、知的財産の所有・活用と売上高経常利益率の関係について、「中小企業で特許権を所有している会社あるいは活用している会社の売上高経常利益率は、特許権を所有していない会社よりも高い」という。また、「中小企業の特許所有会社の売上高経常利益率は3.5%で、大企業における売上高経常利益率2.6%を上回っている」とされる。（図1）

図1 知的財産所有の有無・活用の有無と売上高営業利益率 (全体及び大企業)

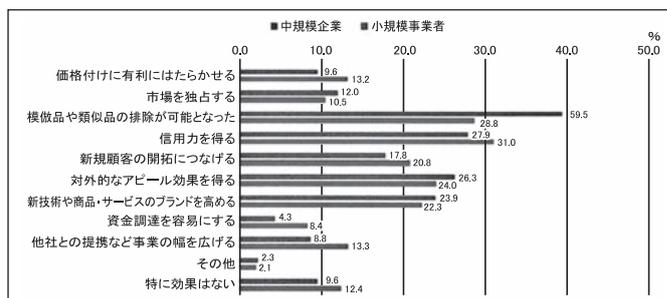


(企業活動基本調査)

また、同報告書では、「知的財産活動の効果では、中規模企業と小規模事業者の双方で『模倣品や類似品の排除が可能となった』と回答した割合が最も高い。

次いで『信用力を得る』、『対外的なアピール効果を得る』と回答した割合が高くなっている」としている。（図2）

図2 知的財産活動の効果（規模別）



機械加工製造業

電子部品やモーター制御向け基板など電気・精密機械器具の販売は、前月比横ばい～やや増加。景況感が好転した業者は見受けられないものの、「受注は好調に推移」「半導体関連は堅調に受注がある」「来年の受注も入り出している」などの声が寄せられた。先行き大きな動きはないとの声が多いが、やや増加を見込む業者も。一部に原材料、資材価格上昇との声。製品価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で「派遣社員増員中。今後も求人を出して対応」など積極的な声も。設備面では「工場修繕済み。機械も納入になった」「機械導入。今後も検討」などの声が寄せられた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注、販売の前月比は、業者により増減分かれる。「IoT向け半導体需要増。生産前倒し」「フラッシュメモリ向け増加」「FPD関連良好」などの声が寄せられた一方、「特定顧客向けに増加したのものもあるが、スマホ関連は相変わらず停滞」「受注残の増加は顧客の事情によるもの。これによって売上也伸びない」などの声も聞かれ、一部に景況感が悪化した業者も見受けられた。先行きは増加を見込む声もある。「原材料下げ止まり」など、当月原材料、資材価格に大きな動きはなかったという。雇用面では、「技術系の経験者は募集も、派遣にて対応」「充足。予定なし」など当面現状維持の様子。設備面では「実施済み」「予定なし」などの声が寄せられた。

産業機器、医療機器等部品の受注、販売の前月比は業者により増減分かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。「中国向けが在庫増加で受注減が続いている」「工作機械向け減少」「大手が中間決算で一部仕事を止めているとの声も聞かれる」などの声の一方、「受注の変化はあまりない。安定している」「ロボット向けが好調」「精密部品加工で、様々な分野からの受注が増加傾向」「新規受注品の立ち上げ開始」などの声も寄せられた。景況感が好転した業者も少なくないが、こうした業者からも「8月の夏季休暇の反動で売上増。全般的に景気が良くない。活性化していない」などの声が聞かれたほか、「経済活動は停滞気味」「良い話は少ない」などの声も聞かれた。先行きの見方は分かれ、増加を見込む声も複数あるが、「大手企業の再編で先が読めない状況が続く」「全体的に一服感があり、10月以降が心配との声は多い」など不透明感を指摘する声も少なくない。

原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、「次月アルミ材値下がり」との報。製品価格に関しては、下降しているとの声が少なくない。雇用面では、「増員中」「即戦力募集」「やや増員」「若干不足気味」「入社はあるのだが、入れ替わりが早く複数名募集」など不足感を指摘する声が多く聞かれた。設備面でも

積極的な声は多く、「一部増設」「機械、電気設備増設。今後も機械導入予定」「実施中。今後設備導入予定」「技術開発用設備導入」「目下は外注を増やして賄っている。今後機械導入して増強」「今月入れ替え」などの声が聞かれた。

建築用金属製品の販売は、前月比概ね横ばい、前年比は減少との声が寄せられた。「依然、特に首都圏で発注が遅れている。今後一気に噴き出す可能性もある」という。一方、「東北の震災復興物件は増加」との声も。原材料価格に関し、「一部に値上げの話もある」との声。雇用面、設備面で積極的な声が寄せられた。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比ともに業者により増減分かれる。景況感が悪化した業者が見受けられた一方で、「好調な車種があり、受注は増加傾向。売上も先月営業日数が少なかったため前月比で増加」などの声も。先行きに関する見方も分かれる。雇用面で「選果場やアミューズメント機器製造といった季節要因により派遣社員が不足している。時給を上げて募集するなど、各社とも人材確保に苦慮している様子」「女性従業員が集まらない。派遣会社でも人が足りない様子」などの声が寄せられた。

小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばい。一部に景況感も悪化との声も聞かれた。先行きの見方も分かれ、一部に「やや良くなる」との声が聞かれ、こうした業者では雇用面で不足感があるという。設備面で積極的な声は聞かれなかった。原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

FA関連モーターでは、「産業機械向け、車載向けともにほぼ横ばいで推移」との声が寄せられた。「9月の売上は増加」しているが、これは「8月は稼働日数が少なかった」ためで、景況感の好転には至っていないという。先行きも大きな動きは見込まれていない様子。原材料、資材価格がやや上昇している一方、製品価格の下降が続いているといい、この傾向は続く見込みという。

光学機器部品の生産は、前月比、前年比とも減少との声が寄せられた。先行きも弱含んでいるという。原材料、資材価格がやや下降との声。先行き、雇用面、設備面で積極的な声が寄せられた。

電気、電子製品の生産は、前月比増加、「企業向け、地方自治体向けビジネスの引き合いが拡大」など景況感も好転との声が寄せられた。こうした業者では「開発要員」などで不足感があるという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや減少。前年比もやや減少との声が多い。「先行き不透明感と悪天候があってか動きが悪い」「秋スタートの注文が少ない」「地元の得意先が減少している」「業界は例年に比べると少し冷えている」など、景況感横ばいはいし悪化との声が多い。先行きに大きな動きは見込まれていない様子。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。雇用面で、現状維持との声が多数。設備面では、「実施中」「年内に」「機械導入予定」など積極的な声が複数聞かれた。

水引製品の販売は、前月比減少との声も聞かれたが、やや増加との声が多い。正月飾りに関し「例年9月から年末までパートさんを頼んでいるが、今年は今のところその必要を感じない。全般的に業況は低調と感じる」「秋を迎え祝儀用製品が動き出したが、例年より幸先良く感じる。数量的に小さい一方、注文の種類が多い。好調に推移している製品もある」などの声が寄せられた他、「盆用品の売上増」「円高のお蔭で何とか利益を確保」などの声も寄せられた。先行きの見方は分かれる。「祝儀等について言えば販売が落ちているほかに他産業の製品も入り込んできている。当地区の業者には痛手だが、他地区、他業種に比べると製品の種類が当地区は多い。こうした利点を生かして一歩一

歩進めれば他の追随を許さないのでは」「飯田を含め、ディスプレイなど従来とは異なる用途に使用する動きが注目されている。良い傾向だと思う。飯田でも意欲あるデザイナー、工芸家ももっと多く出てきて欲しい」などの声が寄せられた。原材料、資材価格に関し、一部に前年に比べ下降しているとの声。設備面で、一部に「実施中。今後も継続」との声があるものの、現状維持との声が多い。雇用面で、今後「パートさん採用予定」などの声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比やや増加との声が寄せられた。「長雨、日照不足により生鮮品に高値感、品薄感があつた」という。こうした「台風の影響、長雨、日照不足など天候が安定しない」ことの影響で、「今月は原材料確保に非常に苦労した。年々この傾向が強くなっていく」という。雇用面で積極的な声が聞かれた。

その他製造業

食品関連包材の生産は前月比横ばい、先行きも大きな動きは見込んでいないとの声が寄せられた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比ともやや増加、「大物の仕事が重なり良かった」との声が寄せられた。雇用面では、「現状充足も、将来を考えて」など積極的な声。設備面では「機械の更新などはあるが、同業でも大きな設備投資の情報は聞かない」などの声が聞かれた。

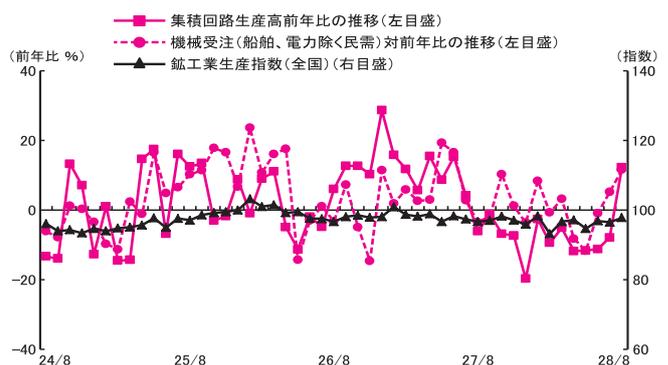
衣料品の売上は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。「10月の生産は昨年と比べ落ち込んでいる。夏場の猛暑と雨が多かったことが影響している。海外生産も落ち込んでおり中々増えてこない」「百貨店の売上が減少している。現地購入よりネット販売が特に外国人で伸びている影響があるのではないか。爆買いが落ち着いたというが、円レートの推移を考えても外国人の購買意欲が減退しているとは思えない」などの声。雇用面で「依然不足。新卒者の募集を増やすことも考えている」との声が寄せられた。設備面で積極的な声。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器などの家具の販売は、前月比、前年比とも減少、「景況が浮上してこない。年末に向けた期待感だけが聞こえる程度」など景況感も悪化との声が寄せられた。当月、原材料や資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面、設備面でも積極的な声は聞かれなかった。

【企業からのコメント】

- ★元気づくり支援金やムトス支援金などの絡んだ受注を考えたい。
- ★アメリカの自動車市場では、原油安とピックアップトラック、SUVの人気復調で、ハイブリッド車は不振が続いている。

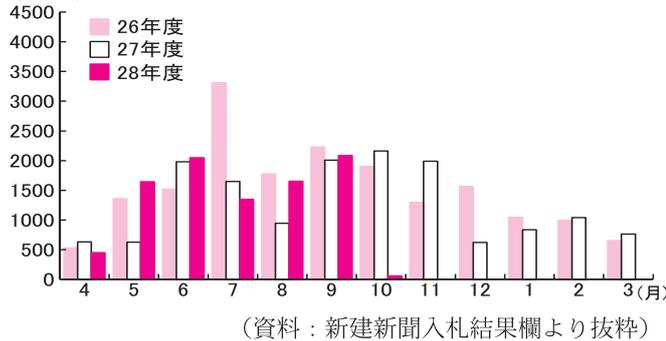
集積回路、機械受注・鉱工業生産指数の推移



建設業

月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -6.7 (先月 -31.3)

翌月予測DI -7.1 (先月 0.0)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約20.9億円で、前月比は26%増加、前年比も4%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、増減相半ばする。「発注量は例年になく少ない。競争激化で中々受注できない」「年末までの発注待ち」など減少しているとの声を寄せた業者の中には村部の業者が少なくない。一方、受注残高が増加した業者も少なからず見受けられたが、こうした業者でも景況感の好転には至っておらず、「公共工事の発注が開始したが全体的に少ない」「9月に入りやっと本格的に発注が始まったが、全体的にはまだまだ少ない感じがする」「受注に関しては二極化している様子がある」「公共工事は仕事が少ない。大手の土木は仕事が多いのでは」などの声が聞かれた。

「9月までに当初予算が粗方発注になった」というが、先行きに関しては、「9月補正予算は思ったより少ない感じがする」「国の補正も直轄事業に重点が置かれ、地方中小業者は疲弊しそう」といった事情もあってか、「11月以降の仕事量が減少することが懸念される」「先行き不透明感がある。同業も景況が悪化しそうとの声は少なくない」という。

「リニア関連工事が動き出した」「リニアの動き出しに期待する」などの声が寄せられたが、これに関連して「今後大型ダンプやガードマンなど人手不足も予想される」との声も。

「ガソリン等は値上がり」との報が寄せられたが、それ以外の資材価格に大きな動きはなかった様子。また、工事単価に当月大きな動きはなかったというが、「リニア関連工事が動き出したことに伴い、人手不足等によって工事単価も上昇するのでは」との声も寄せられた。

民需

当地区の8月の住宅着工戸数は70戸。前月比21%増加、前年比も5%増加している。

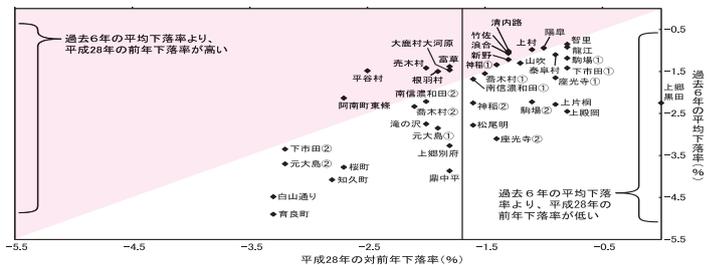
当月の調査先業者の受注残高の前月比は、減少～横ばい。「除草や民間工事で動き出している。アパート、マンション等の新築工事も動き出してきたように感じる」との声もあるものの、「一般工事も仕事は少ない」「建築関連業種はあまり良くないと思われる」「住宅改修工事のみ」「仕事量は腹半分といったところ」など多くの業者で景況感の好転には至っていない。

「新築住宅、リフォームとも、価格がよりシビアになってきている」との声。資材価格がやや上昇との声も寄せられた。

長野県が公表した「平成28年地価調査」によると、

当地区では基準地価が昨年より上昇に転じた地点はなかったが、横ばいとなった地点が上郷、座光寺などで5地点あった(昨年0地点)。下記グラフは横軸に平成28年の対前年下落率をとり、縦軸に平成23年から6年間の平均下落率をとったもので、平成28年の下落率が過去6年間の平均下落率を上回った地点は山間部を中心に13か所となっていた。

飯伊地区の基準地価 下落率の分布



建設資材

建材等の売上は、前月比増加、前年比横ばいとの声。「工務店とゼネコンや大手ハウスメーカーでは差があると感じる。大手ハウスメーカーの受注は多いと思われるし、当社のお客様にも比較的影響はあるところもあるが、全体にはあまり良くないのではないか」などの声。仕入に関し「依然針葉樹合板が間に合わない」という。

鋼材の売上は、前月比横ばい、前年比減少との声が寄せられた。「状況に変化はない。動きは低調なまま推移。目立った動き、変化はない。地方では回復の足が掛かりもないように思う」との声。「秋需期待の声もあるが裏付けはない。先行き不安は相変わらず。流通としては弱気な姿勢にならざるを得ない」との声。「鋼材相場は弱含みの横ばいで推移」という。

生コンの売上は、前月比業者によって増減分かれるが、前年比は増加。「トンネル工事の舗装などがあり若干増加。次月以降始まる工事もあり多少明るい兆しが見えそう。もっとも、当地区業者の受注工事は相変わらず低迷」「先月からの民間建築工事と三遠南信自動車道関連工事は公共土木工事の出荷も増えてきている。年度末に向け明るい兆し」などの声が寄せられた。

骨材等の売上は、前月比やや減少～概ね横ばい。前年比は業者により増減分かれる。「依然として景気が悪い」「明らかに底を脱した感はあるが、天候不良等もあり結果として今一つだった」との声。「一部リニア関連工事、三遠南信自動車道などが動き始めた。重機、車両の仕事から動くだろう」との声が寄せられた。

【企業からのコメント】

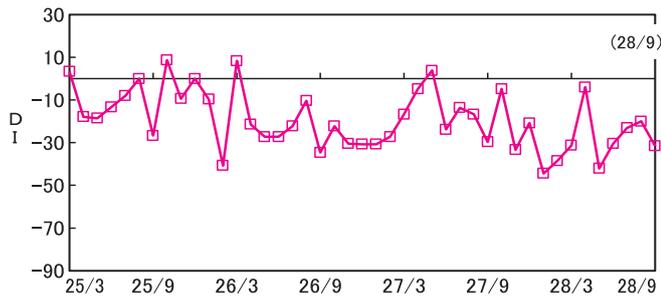
- ★雇用を守るため下請工事も含めて単価の折り合いがつかなくても受注してきた過去があるが、新たな分野に進出し、必要最低限の雇用を確保するとともに、自社見積もりなども増やしていきたい。
- ★地域大手は、さすがに民間建築も良くやっている。

住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

9月		○下伊那地方事務所	
新築	4件	(前年	13件)
増築	6件	(前年	2件)
○飯田市役所分			
新築	18件	(前年	12件)
増築	2件	(前年	2件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-31.6 (先月 -20.0)
翌月予測DI	-25.0 (先月 -12.5)

商業

食品の売上の前月比は、やや減少との声が多い。「不測の事情で商品の入替、減少があり客足が減少したが、品揃えが整えば上昇すると思う」「昨年比低調」などの声。一部に、仕入価格がやや上昇しているものの、販売に転嫁できていないとの声。雇用面では総じて現状維持。一部に設備投資実施との声が聞かれた。

【青果卸売市場】

売上は前月比増加、前年比は「野菜の価格安」「松茸の入荷減」などもあって減少という。

野菜は「昨年まで2年続きで品薄による高値であった。今年は9月下旬の長雨による高値となったものの、月間を通してはピーマン・トマト・キャベツ・レタス・白菜は昨年比6～7割の価格となり、全体では松茸の入荷も少なく入荷量1%増の価格は19%安」という。

果実は、梨は幸水、リンゴはつがると前進出荷の分、入荷量はリンゴ18%減、梨は12%の減。ブドウは入荷量価格とも前年を上回り、果実全体では、入荷14%減の価格は18%高」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少、先行きは、景況感の好転には至らないものの、やや増加を見込んでいるという。

家事用品卸の売上は、前月比やや減少、前年比はやや増加という。景況感はやや改善の声も。「天候が悪かったため、殺虫剤等の季節商品を早めに切り上げた」などの声。仕入単価が引き続きやや上昇、今後もこの傾向が続く見通しという。「社員を募集しているが、ハローワークからもなかなか紹介がない」との声が寄せられた。

家電の売上は、前月比減少。前年比は業者により増減分かれる。「前年同期と比較し明らかに消費が落ち込んでいる」との声も。「電気工事、設備工事とも仕事がなく、職人が松本方面へ出向いているとの話もある」「飯田下伊那地域へ大手が参入してきており、今まで売れていた商品が売れなくなっている」等の声。

OA機器の売上は、前月比減少、前年比はやや増加との声。「年度末、年度初めに向けて予算取りの提案中」「10月からのマイナンバーの利用本格化も視野に入れたい」などの声が聞かれた。

衣料品の売上は、「衣替え」などもあって前月比やや増加～増加、前年比は横ばい～やや増加。しかし景況感の好転には至っておらず、「状況としては特に良くも悪くもないが、一部、土木・建設関係で仕事量が減ったと耳にする」との声の他、景況感が悪化した業者も見受けられた。

娯楽用品の売上は、前月比、前年比ともにやや減少との声。

土産物関連の売上は、前月比減少～横ばい。「来訪者減少。他社もマイナスと聞く」などの声が寄せられた。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比51%増加も、前年比は15%減少。中古車は、前月比8%増加も、前年比は4%減少。8月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は前月比17%減少、前年比も6%減少。中古車は前月比12%減少も、前年比は10%増加。

サービス業

市内料理店の売上は、一部に前月比増加との声。前年比はやや減少との声が多い。「秋口なので山行き等の需要も増えている」などの声はあるものの、「週末は比較的良好だが平日の入込が昨年より悪く一段と冷えこみを感じる」「不思議なもので満席の日はかなり前から決まり、その後の予約もその日に集中しがち。また、当店が忙しい時は他店も忙しいという。不景気感もあって、お客様の消費動向の偏りを強く感じる」「単価の安い店に流れているのか、家族のお客様が少ない」「酒離れか、若い人達はあまりお酒を飲まない」などの声が寄せられた。「個店の努力が必要」との声が聞かれた。

市内ホテル、旅館の売上は前年比やや減少という。「婚礼関係はお練り年のため例年どおり減少。宿泊等は若干増加も、天候不順もあり全体としては減少」「台風の影響は甚大」「今後のことは不透明」などの声が寄せられた。「お練りの翌年は婚礼件数が大幅に増加するというジンクスも世の中の変化であてにはならない」という。

屋神温泉の売上は、前月比減少～やや減少。「台風によるキャンセルが大きかった」などの声が多数寄せられた他、「夏休みも終わり家族連れが減少。2名様の利用がほとんど」などの声。ナイトツアーに関し、「ゴンドラの維持補修の期間、お客様もストップした」「ツアー期間はほぼ満館だが、ない時は入らない。ナイトツアーのない時期が不安」「曇り、雨天時のお客様への対応が課題」「今年から実施の冬のナイトツアーも、寒さ対策や交通事故、道路状況等心配材料も多い」等の声。先行きに関し「例年なら10月、11月はトップシーズンだが、今年の動きはいつもと違うように感じる」「11月の入りがいつもより低調」などの声。雇用面で「依然人手不足。予約を取りたくても取れない」「トップシーズンを控え従業員の移動は避けたい」などの声が聞かれた。

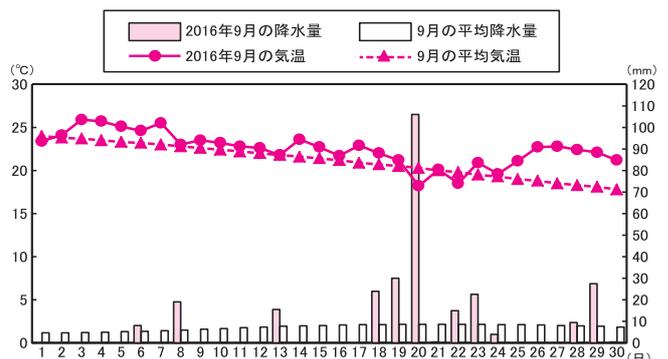
旅行代理店の売上は、「秋の観光シーズンに入り国内、海外ともに前月比増加」という。「9月後半のシルバーウィークは航空機やJRを利用した北海道・九州・沖縄、またアジアなど近場の海外も増加したが、収益性が依然今一つ」との声。「10～11月の旅行相談は増加しているが、実績として残る部分はどうか」との声が寄せられた。

タクシーの売上は、前月比、前年比ともにやや減少という。「一昨年かなり落込み、昨年の売上は数字上アップしたが、今年は一昨年並みで非常に厳しい」などの声。「夜間需要の掘り起こしが売上維持の要。また、タクシー事業以外で売上をいかに上げるかも重要」という。雇用面で「数名募集」「毎年労働者の平均年齢が1歳ずつ上がっている現実深刻」「労働者が働きたいという環境を業界で作り上げていかないと、近い将来の労働力不足が経営に影響を与えかねない」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★6月以降、例年に比べて景気の悪さを一段と実感している。
- ★国民の負担が多くなる（増税）など良い話がない。

飯田の気温と降水量



経営の計画にもいろいろありまして

飯田信用金庫 経営相談所
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

先日、「経営計画策定セミナー」に出席しました。
開始前の待ち時間に、後ろの席に居た40代の男性二人が話をしていました。

Aさん「今日のセミナーは、機械設備の固定資産税（償却資産税）が1/2になるセミナーだよな？」

Bさん「計画は計画だけど違うんじゃない」

Aさん「いや、経営計画を立てて国に申請すると1/2になる法律ができたから、今日のセミナーはこの話だ
と思うよ。」

Bさん「違うような気がするが？」

実は、Aさんの話は、平成28年7月1日施行された「中小企業等経営強化法」のことでしょう。この法律では
稼ぐ力を向上計画書に落として申請をすることになっていきますから、Aさんは本日のセミナーのテーマ「経営計
画策定」も向上計画も同じものと捉えたのでしょう。更に、このセミナーが8月24日に開催されたこともあり新
しい法律の説明だと勘違いしたのでしょう。

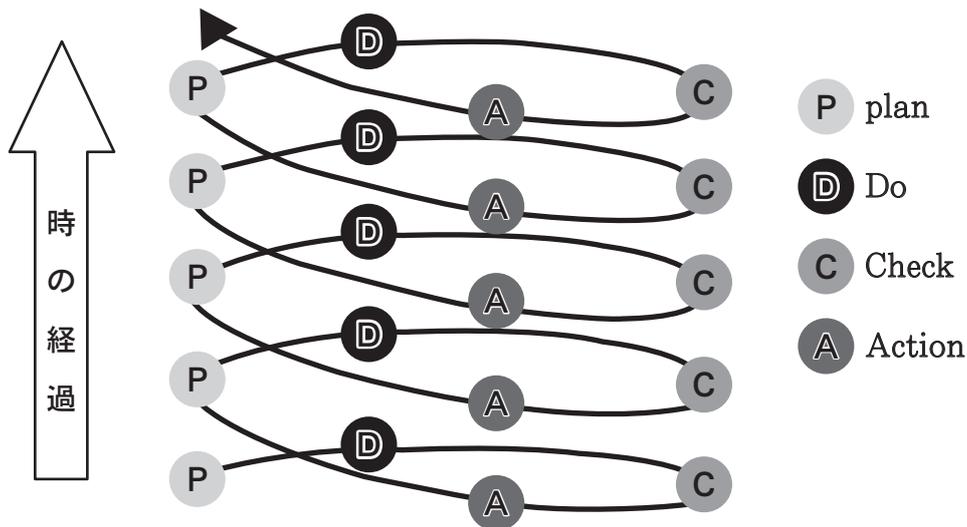
ここ数年毎年のように、中小企業に対する多くの補助金や支援措置が出ています。どの支援策にどの計画が必
要なのか、Aさんが勘違いしたように中小企業の皆さんになかなか理解が出来ないのも無理はありません。

法律でいう支援策の計画にも色々あり、①自社の経営状況、経営実態を把握して経営資源を活用して行動計画
をつくる「経営計画」、②業績悪化の問題点を分析して改善案を立案する「経営改善計画」、③新商品の開発や
新サービスの提供等、積極的に新たな取り組みを計画する「経営革新計画」、④稼ぐ力を強化する「経営力向上
計画」、⑤創業のために立案する「創業計画」等、企業経営には名前も内容も異なるいろいろな計画があります。
また、支援策を受けるには、それぞれに該当する計画書でなければなりません。

さて、「俺は自分のカンを頼りに経営をしているから計画は必要ない」という経営者の方も時折いらっしゃいま
す。しかし従業員がいる会社の場合、経営者のカンだけでは経営者の考え方が従業員によく見えないため、自分
では考えずに経営者の指示待ちをする人材に育ってしまいます。また、方向性が分からないのでは会社に対して
貢献のしようがありません。成果を検証できないため、何だか知らないうちに「上手くいった」とか「上手くい
かなかった」とかで終わってしまいます。これでは上手くいった成功経験も無駄になってしまいます。計画が「上
手くいった」場合でも、「上手くいかなかった」場合でも、経験が蓄積されて後の経営に生かすことができます。
そのことが少しずつ成功する確率を高めていくことになり、経営者がいなくても同じように幹部が経営を遂行す
ることができるのです。計画は、経営の軸を作り、誰もが共通認識を持つようになり、また目標と現実のギャ
ップを確認することを可能にします。上記のように計画の名称の違いこそあれ、次のステップへ進む経営に欠かす
ことのできないものです。

また、どの計画でも、計画を策定すれば終わりではありません。その計画を実行し、実行後の検証、検証後の
改善が無ければ計画で立てた目標を達成することができません。計画（plan）— 実行（Do）— 検証（Check）—
改善立案（Action）をサイクル（マネジメントサイクル P8 図-1）として継続して実行することで計画の目標
達成が可能になります。

図-1 目標達成のためのP・D・C・A マネジメントサイクル



経営者は、誰しも創業当事、ワクワクしながら思い描いた計画があると思います。もう一度、5年後、10年後の会社の将来を描いてみてはどうでしょうか。

「経営力向上計画書」で稼ぐ力を強化しませんか？

【概要】

「中小企業等経営強化法」が平成28年7月1日に施行され、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援することになりました。人材育成、コスト管理等のマネジメント向上や設備投資など自社の経営力を向上するための「経営力向上計画」をつくり認定された事業者は、税制や金融の支援等を受けることができます。

【ポイント1】

申請書類は実質2枚 ①企業の概要、②現状認識、③経営力向上の目標及び経営力向上による経営の向上の程度を示す指標、④経営力向上の内容など簡単な計画等を策定することにより、認定を受けることができます。

【ポイント2】

計画策定をサポート 認定経営革新等支援機関（商工会議所・商工会・中央会や士業、地域金融機関等）に計画策定の支援を受けることができます。また、ローカルベンチマークなどの経営診断ツールにより、計画策定ができるようにしています。

【ポイント3】

認定計画に基づき取得した一定の機械及び装置の固定資産税が半分に 計画認定を受けた場合、資本金1億円以下の会社、個人事業主などは、①160万円以上の機械及び装置であって、②生産性が年平均1%以上向上等の要件を満たせば、固定資産税の課税標準が3年間半額になります。

【ポイント4】

その他の金融支援もご用意 計画認定を受けた場合、政策金融機関の低利融資、民間金融機関の融資に対する信用保証、債務保証等の資金調達に関する支援を受けることができます。

お問い合わせは、飯田信用金庫の各支店および経営相談所（電話 0265-53-5811）まで。

11月3日(木・祝)、飯田市丘の上を中心に、「第10回飯田丘のまちフェスティバル」が開催されます。

本誌では、第10回飯田丘のまちフェスティバル協賛企画として、飯田市美術博物館学芸員 織田顕行氏による「郷土の偉人特別編 飯田のまちと日夏耿之介の面影」を掲載します。お楽しみください。

「第10回飯田丘のまちフェスティバル」では、飯田信用金庫を含む三遠南信8信用金庫の主催による「三遠南信グルメサミット(しんきん物産展)」「しんきんフォーラム」のほか、銀座4丁目キング堂ギャラリーでは飯田市美術博物館による企画展「日夏耿之介とめぐる飯田の街」が開催されます。他にも、住民による楽しい催しが目白押し。ぜひ足をお運びください。

郷土の偉人特別編 飯田のまちと日夏耿之介の面影

飯田市美術博物館
学芸員 織田 顕行



りんご並木の詩碑

飯田のまちを彩りりんご並木通りには、昭和37年(1962)に建立された日夏耿之介の詩碑があります。六角柱の印象的なフォルムと黒御影石を用いた厳かな質感、その表面に刻まれた秀麗な字句が並ぶ詩の一節とがあいまって、碑の周辺は格調高い雰囲気にも包まれています。

一方で、この碑の存在自体が、容易に近づきがたい偉人という当地における日夏耿之介のイメージを象徴しているようにもみえます。ゆえに、飯田市名誉市民第1号に選ばれながら、没後半世紀近く経ち過去の人になってしまっている感じがします。しかし、若き日には^{あぐたがわりゅうの すけ はまわらさくた}芥川龍之介や萩原朔太郎らと親交を結び、のちに^{みしまゆき おおえけんざぶろう}三島由紀夫や^{しぶさわつひこ}澁澤龍彦、大江健三郎といった作家たちにも大きな影響を与えるなど、日夏耿之介は詩人、英文学者、翻訳家として大正から昭和における文芸の世界において独特の存在感を放っていました。

今年で10回目を数える飯田のまちのイベント「飯田丘のまちフェスティバル」の中で、丘のまちにゆかりある著名人のひとりとして、この日夏耿之介にスポットをあてることになりました。これを機に、この飯田ゆかりの作家に少しでも近づけるようご案内をしたいと思います。

< 小説『竹枝町巷談』と生い立ち >

日夏耿之介の著作のうち、唯一の小説として『^{ちくしちやうこうだん}竹枝町巷談』(1)という作品があります。本作は日夏が少年時代を過ごした明治34、5年頃の飯田町を舞台に書かれた自伝的作品です。タイトルの『^{ちくしちやう}竹枝町』は生家のあった知久町(現飯田市知久町)がモデルで、日夏は主人公^{なえみつひこ}「直江光比古」として登場します。格調高い文語調の文体でとっつきにくさは否めませんが、生家近くの家並みや銀座通りの和菓子屋さんをはじめ町内のお店の食べ物に舌鼓を打つところなど、町のディテールの描写は飯田の人なら興味深く読めると思います。



自伝的小説『竹枝町巷談』原稿
(飯田市美術博物館蔵)



日夏耿之介 昭和5年頃

日夏耿之介（本名は樋口國登^{ひぐちくにと}）は、明治23年（1890）2月22日、下伊那郡飯田町（飯田市知久町三丁目）に樋口家の長男として生まれました。日夏の生まれた樋口家は、小説からも窺えるように裕福な旧家でした。『竹枝町巷談』では、家族や近所の人びとなど実在の人物が仮名で登場します。その説明は、名前以外はほとんど事実在即しているようです。例えば、小説の上では「北川家」から養子入りした「直江意左衛門幸信」として登場する祖父は、実際には樋口光信（與平^{ひぐちみつのおよへい}）といい、現飯田市座光寺の北原家から樋口家に養子入りし、北原信質（稲雄^{きたはらののぶただ}）、信敬（真幸、豊三郎^{のぶたか}）とともに国学三兄弟のひとりとして尊敬を集めました。また父「直行」（藤治郎）は、高遠の「江藤家」（伊藤家）から養子入りした銀行家。その他、親族として登場する「元善光寺村」の「北川家」、「仲井町」の印東家など、飯田下伊那の歴史に関心があれば註記しなくともおおよそ何処の誰をモデルにしたのか推定できます。ちなみに自身に「直江」の姓を付けたのは、戦国武将の直江兼統の旧姓が「樋口」であることも関係するのかもしれませんが。

この『竹枝町巷談』は、フィクションとはいえ日夏の生い立ちを知るのに有益ですが、二十世紀初頭の飯田町の様子的一端が窺える貴重な証言にもなっています。

< 生家の没落と母の苦労 >

裕福な家に生まれ家族にも愛された日夏でしたが、内向的で気難しくおまけに学校嫌いだったこともあり、14歳の時に地元の中学を退学し、叔父の樋口秀雄（号 龍峽^{ひぐちひでお} 社会学者、衆議院議員 1875～1929）を頼って上京します。ほとんど学校も行かずに叔父の家で文学書を読み漁っていたようですが、叔父の助けもあってなんとか早稲田大学に進学します。

大正6年（1917）、日夏27歳のとき母の以志^{いし}から資金援助をもらって出版した処女詩集『転身の頌^{てんしんしょう}』（2）は、「ゴシック・ローマン詩体」と称した観念的で荘重な作品で、大正時代の詩壇に異彩を放ちました。華やかな新人のデビューのように見えますが、同書出版の契機は、大正3年（1914）の父の藤治郎の死にあったと同作の序文に記しています。父の経営する銀行が破綻し、養子先の財産をも使い果たしてしまったことに対する負い目がさらに父を苦しめ、父は精神を病んでしまいます。日夏は東京で父の看病をしながら大学の卒業論文を書くような状況となり、3年間の闘病の末に父は亡くなりました。



処女詩集『転身の頌』
（特装本 飯田市美術博物館蔵）

大正4年には、叔父が家族の反対を押し切って衆議院選挙に出馬して初当選します。樋口家の家計は破産寸前、知人から借金をしたり家財の売立をしなければならないような状況にありながら、母は文学で身を立てようとする長男のためにお金を工面していたようです。一家の大黒柱亡き後、樋口家は破産して最後には生家をも失いますが、その間の金銭の工面や財産整理に奔走したのは日夏の母の以志だったようです。9人の子供を産み、その子育てのためにも金策に腐心してきました。父亡きあと樋口家の長兄として家計を切り盛りしなければならない

立場にありながら病気がちで世間的なことに疎かった日夏は、おそらくそれらしき立ち振舞いは殆どできなかったのではとさえ思われます。かくして家運が傾いていく最中に母の支えを得て、日夏は文学の世界で身を立てることができたといえます。

< 下伊那への疎開 >



山本村疎開時の日夏耿之介（昭和20年）

日夏は、避暑や療養のため1～2か月ほど東京を離れることがありました。昭和15年には静養のために帰郷して伊賀良に滞在、また太平洋戦争中にも疎開のために帰郷し伊賀良や山本など飯田周辺の村に滞在しました。

リンゴ並木通りの日夏詩碑の向かいには、「飯田の町に寄す」という小さな詩碑があります。この詩を作った劇作家岸田國士（だくに お）（1890－1954）と日夏とは、戦前から家族ぐるみの付き合いがありました。日夏は「センスのある人」（3）という追悼の随筆でも岸田を高く評価しています。両者はたまたま戦時中の下伊那疎開で再び相見え、同じく伊賀良中村に疎開していた作家の森田草平らとともにこの時期の文化運動の指導者的な立場となって親交を深めていきました。

日夏には下伊那疎開中の滞在記などを収めた『山居読書人』（4）や『秋の雲』（5）といった味わい深い随筆集がありますが、いずれも発行部数が僅かなため入手が困難な状況にあります。しかも没後に出版された全集では下伊那滞在時の作品のいくつかが選から漏れており、編集方針に沿わなかったためとはいえ、飯田の方々からすれば少し寂しいかもしれません。

ところで、日夏が下伊那疎開中に住んだ山本村（現飯田市山本）の「栗里亭」は、お菓子の名前にもなっていますが、それとの関連性は別として日夏の著作に目を通してみると、甘い物を食べる（日夏は「啖べる」と表現することが多い）描写が案外目につきます。はじめてシュークリームを食べた思い出や、中村屋のカリントウが病氣療養中の友だったこと、飯田の和菓子のなかでは栗粉餅（くりこもち）がお気に入りであることなど、美食家といえるレベルとまではいかないまでも、なかなかの甘党だった様子が伝わってきます。飯田は美味しい和菓子屋さんがたくさんありますが、どこかのお店で日夏の好んだ味を再現してみるのも面白いような気がします。

< 故郷飯田への愛着 >

日夏は、昭和31年（1956）、66歳のとき、病を得て故郷飯田を終焉の地と定めて帰郷しました。

「秋風や 狗竇（くひん）の山に 骨を埋む（うず）」と詠んだ日夏の句碑が、風越山（かざこしやま）の山頂にあります。これに関して昭和15年には、



りんご並木詩碑の除幕式（昭和37年11月23日）

「わたくしが亡んだならば、^{こいながわ}冀くは信州中央日本^{アルプス}雪嶺山脈の南端、^{くひんす}狗竇^{かぎこしやま}棲む風越山東麓飯田のお城下に面した山腰に枯骨を埋めて、そこの易^やすくは人の到らぬ懸崖に、わたくしの長詩^{こうみんじょう}黄眠帖又は呪文の中から只一句をよく選んで^ほ彫りつけて墳墓として貰ひたい。」

と述べています（6）。

日夏は愛宕稲荷神社（飯田市愛宕）の脇に居を構え、昭和46年6月13日に81歳でこの世を去るまで故郷で余生を過ごしました。「狗竇棲む」という風越山頂には句碑が、りんご並木通りには詩集「^{じゅもん}呪文」の最終聯の一節を刻んだ詩碑が、^{はくしんじ}柏心寺（飯田市箕瀬）には墓が建てられました。日夏がずっと温め続けていた郷里に骨を埋めたいという気持ちは形を成し、いまこうしたゆかりの場所で窺い知ることができます。日夏の帰郷後の様子は、著作物よりもたくさんの関係者から耳にしてきた思い出話や当時の写真、詩碑など現存するゆかりの場所のほうがリアルに伝わってくるようです。

飯田での日夏耿之介の様子を語ってくださってきた方々も少しずつ鬼籍に入り、生前の日夏を知る人が少なくなってきました。そこで伺うお話のほとんどは、和服に身を包んだ白足袋姿の優しいおじいさんのお話です。飯田の街を和服姿で闊歩する昭和30～40年代の写真はたくさん残っており、すっかり好々爺になったその風貌が、飯田における日夏耿之介のイメージとして定着しているように思います。日夏と飯田のまちとを結びつけるイメージが少年時代と老後の風貌であることは確かですが、作家として脂の乗っていた時期の姿にも思いを馳せることができましたなら、という気がします。

また、りんご並木通りの詩碑をはじめ、二十基を超える日夏の句碑や歌碑が飯田のまちに点在していることにも改めて思いを寄せたいものです。決して華やかなものばかりではありませんが、飯田のまちに少しばかり品格を添えてくれているように思えます。故郷を愛した作家の足跡が飯田のまちの各所で見られることは、地元民なら当たり前のこととはいえ、日夏ファンは少数ながら全国区であり、実は他所の地域では到底望むことができない貴重な財産が点在しているのです。

日夏耿之介のようにどちらかというと玄人受けしてきた人物の本質に迫ることは容易ではありませんが、はじめから最短距離を目指すのではなく、迂遠な道りを楽しみながら理解を深める方法もあるはずです。日夏の作品は詩、翻訳、文芸評論、随筆、俳句・短歌と多岐にわたりますが、たとえばここで申し上げたような故郷飯田への愛着、という切り口から日夏の人物像に迫るのも一つの方法ではないでしょうか。

< 本文で紹介した日夏耿之介の著書 >

- 1 『竹枝町巷談』（的場書房、1955年） ※『日夏耿之介全集』（河出書房新社 以下「全集」と表記）8巻等に再録
- 2 『転身の頌』（光風館、1917年） ※全集1巻等に再録
- 3 「センスのある人」（『文藝 岸田國士追悼号』1954年） ※全集8巻等に再録
- 4 『随筆 山居読書人』（関書院、1947年）
- 5 『随筆 秋の雲』（姫城書院、1946年）
- 6 日夏耿之介「文房之記」（『茶わん』1940年） ※全集8巻等に再録

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成22年	588	△ 23.0	334,765	△ 0.6	189,908	4.4	148,505	△ 13.5
23	557	△ 5.3	322,932	△ 3.5	186,915	△ 1.6	118,624	△ 20.1
24	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
平成27.7	53	17.8	25,446	0.1	16,135	1.7	9,993	0.7
8	67	45.7	38,122	△ 1.1	21,032	3.9	10,861	2.1
9	60	39.5	28,095	2.5	17,371	8.9	9,672	2.6
10	42	13.5	27,359	△ 0.9	17,700	9.7	10,841	13.0
11	58	34.9	26,192	△ 4.7	17,564	5.5	9,957	6.3
12	47	△ 6.0	27,708	0.0	17,019	4.3	8,886	7.8
平成28.1	37	△ 11.9	25,395	△ 6.2	16,384	1.6	8,756	△ 1.1
2	43	16.2	22,895	2.6	15,101	1.6	8,620	1.4
3	51	264.3	30,309	0.8	18,941	3.8	10,456	△ 2.7
4	37	△ 28.8	25,220	3.8	14,959	△ 0.4	9,956	△ 11.3
5	45	0.0	28,250	△ 2.8	16,930	△ 3.5	10,360	△ 27.6
6	64	39.1	22,591	△ 5.5	14,856	1.1	9,900	△ 5.0
7	58	9.4	26,517	4.2	17,613	9.2	9,975	△ 0.2
8	70	4.5	36,140	△ 5.2	22,181	5.5	10,273	△ 5.4
9	—	—	26,977	△ 4.0	17,418	0.3	9,385	△ 3.0
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成22年	30,100	12.6	7,085	1.0	0.57	—
23	24,943	△ 17.1	6,983	△ 1.4	0.72	—
24	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
平成27.7	2,591	△ 6.4	744	12.7	1.26	1.29
8	1,873	6.4	559	7.5	1.26	1.24
9	3,000	3.6	624	5.6	1.27	1.19
10	2,320	1.6	677	14.4	1.28	1.15
11	2,226	4.3	580	14.6	1.28	1.21
12	2,303	9.1	626	7.9	1.28	1.38
平成28.1	2,199	3.8	436	2.8	1.33	1.70
2	2,333	△ 12.1	573	0.4	1.31	1.35
3	3,968	△ 7.1	922	3.9	1.31	1.47
4	1,991	△ 4.1	700	△ 8.6	1.39	1.43
5	2,105	7.5	586	△ 8.2	1.43	1.43
6	2,485	△ 9.1	770	6.5	1.42	1.39
7	2,080	△ 19.7	568	△ 23.7	1.40	1.33
8	1,697	△ 9.4	551	△ 1.4	1.42	—
9	2,565	△ 14.5	597	△ 4.3	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成22年	78,757	110,971,297	151	19	1,958	△ 23.2
23	72,078	92,170,690	155	13	2,132	8.9
24	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
平成27.7	4,480	4,955,452	8	0	192	△ 4.5
8	4,198	5,158,828	5	0	162	20.9
9	4,095	4,468,574	10	3	214	△ 6.1
10	3,568	3,431,913	7	3	169	5.6
11	4,459	4,693,258	5	0	143	△ 8.3
12	4,174	4,939,413	8	1	234	8.8
平成28.1	3,670	4,132,486	7	0	112	△ 14.5
2	4,527	5,291,046	9	1	161	△ 5.3
3	4,247	4,903,346	10	1	277	△ 2.1
4	3,360	3,588,321	7	1	132	9.1
5	4,493	5,008,672	5	0	138	8.7
6	3,934	4,815,045	6	2	158	△ 9.2
7	3,334	3,496,772	9	0	182	△ 5.2
8	4,456	5,177,038	8	1	149	△ 8.0
9	3,791	4,807,264	6	0	176	△ 17.8
資料出所	飯田手形交換所		下伊那地方事務所商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成22年	2,989,200	△ 1.6	1,864,582	△ 0.2	391,039	△ 1.9	938,008	9.0
23	2,917,737	△ 2.4	1,851,218	△ 0.7	372,191	△ 4.8	950,485	1.3
24	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
平成27.7	235,349	0.6	150,935	△ 1.5	35,670	27.8	87,376	8.9
8	258,274	2.8	166,368	△ 0.2	50,308	37.2	110,884	13.9
9	243,504	3.4	161,696	△ 1.8	44,897	44.0	98,057	13.7
10	257,669	7.9	171,575	4.6	50,261	47.1	105,889	20.8
11	241,224	△ 1.7	176,682	△ 3.5	34,790	△ 0.5	96,513	3.6
12	225,302	2.5	148,024	2.7	27,655	18.6	79,038	11.3
平成28.1	207,069	△ 0.5	126,156	△ 2.9	30,469	5.1	71,319	4.6
2	196,086	2.8	122,344	△ 1.0	29,832	11.7	69,690	11.2
3	236,486	1.1	146,710	△ 0.5	30,044	4.9	81,780	3.4
4	219,698	0.4	138,538	△ 2.6	38,704	9.0	84,158	△ 1.7
5	233,685	△ 6.0	149,561	△ 6.3	34,673	△ 25.7	88,828	△ 8.0
6	220,412	0.5	145,235	1.2	19,467	△ 24.6	74,196	△ 4.6
7	237,316	0.8	155,742	3.2	28,941	△ 18.9	87,501	0.1
8	257,508	△ 0.3	168,515	1.3	40,992	△ 18.5	112,045	1.0
9	229,323	△ 5.8	158,198	△ 2.2	28,382	△ 36.8	83,848	△ 14.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							